

＜統計でみる大阪府のがん＞

効果的な小児がん対策

—地域がん登録資料等からみた均てん化と集中化—

2015年 2月

大阪府立成人病センターがん予防情報センター

目 次

はじめに

第1章 小児がんとは？

－大阪府における小児・AYA 世代のがんの診療実態について …… 1

第2章 国による小児がん対策 …… 19

第3章 小児がんの診療とは－小児がん拠点病院の取り組み ……40

1. 厚生労働省指定がん診療連携拠点病院の立場から ……41

2. 小児病院の立場から …… 57

第4章 大阪ならではのがん情報 …… 75

参考資料

1. 「小児がん対策の充実」第二期大阪府がん対策推進計画より抜粋 …… 84

2. 「大阪府における小児がんの実態と受療動向について」 …… 89

(平成 25 年度第 2 回大阪府がん対策推進委員会小児がん部会資料)

はじめに

2007年4月にがん対策基本法が施行され、同年6月に「がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施」「重点的に取り組むべき課題を定めた総合的かつ計画的ながん対策の実施」を基本方針として、がん対策推進基本計画が閣議決定された。2012年6月には、前基本計画の策定から5年が経過したことから見直しが行われ、これまでの全体目標「がんによる死亡者の減少」「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」に、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」が加わった。重点的に取り組むべき課題としては、「働く世代や小児へのがん対策の充実」が挙げられ、小児がん対策の推進が求められている。小児がんは、我が国での推計新規年間発生数が2000～2500人と希少がんであり、白血病、脳腫瘍、リンパ腫の占める割合が高い。また、思春期・若年成人（adolescent and young adult, 以下AYA世代）では、小児に多いがんと成人がんが混在して発生している。2013年2月には、小児がん医療における集約化と均てん化を目指し、全国に小児がん拠点病院15施設が厚生労働省により指定された。近畿では5施設、大阪府内では2施設が指定され、小児がん拠点病院間の連携及び役割分担とともに、地域における小児がん拠点病院とそれ以外の医療機関の連携が求められている。

大阪府では、第二期大阪府がん対策推進計画（2013年3月）に、「小児がん対策の充実」の項目が設けられ、小児・AYA世代のがんに対する医療の充実に向けて、大阪府がん対策推進委員会小児がん部会、大阪府がん診療連携協議会小児・AYA部会を中心に対策が進められている。

本研修会では、大阪府における小児・AYA世代のがんの診療実態、国による小児がん対策、大阪府内の小児がん拠点病院の取り組みなどについて、保健所および市町村のがん対策関連事業課、医療機関、患者の方々と情報共有したいと考えている。小児がんについての理解を深め、地域における小児がん対策を効果的・効率的に遂行するための一助としていただければ幸いである。

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センターがん予防情報センター

公益財団法人 日本対がん協会による

がん対策推進総合研究推進事業

がん医療従事者・専門分野研究者向け等研修会

＜統計でみる大阪府のがん＞

効果的な小児がん対策

—地域がん登録資料等からみた均てん化と集中化—

2015年2月（非売品）

発行 地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センター がん予防情報センター
〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3
Tel : 06-6972-1181（内線 2302）

印刷 末広印刷
〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺 1-10-5
Tel : 06-6629-6881